

相 双 「食」と「ふるさと」 新生運動ニュース

No.28 令和2年12月
福島県相双農林事務所



ナシ（南相馬市鹿島区）

令和2年度農林水産祭（林産部門）において、 有限会社上原樹苗が天皇杯を受賞されました！！

11月23日（月）に明治神宮会館（東京都）で開催された農林水産祭式典において、「有限会社上原樹苗（南相馬市原町区）」に天皇杯が授与されました。

有限会社上原樹苗は、東日本大震災で、社屋、苗畑及び各種機械の多くを津波で失う被害を受けながらも事業を継続し、コンテナ苗生産や作業の機械化等による効率化を進め、被災前の年間生産量（150万本）に対し、現在は200万本を超える生産量となるほか、針葉樹・広葉樹を合わせ常時100種類以上の樹種を生産する全国でも有数の生産体制を築いております。また、女性の働きやすい環境整備に努め、地元から多数採用するなど女性の活躍を支援していることが高く評価されました。

式典当日は、全受賞者を代表し有限会社上原樹苗代表取締役の上原和直氏が「収穫感謝のこたば」を述べました。

今後も、本県の持続的な森林林業の発展に寄与されることが期待されます。



天皇杯を受賞した有限会社上原樹苗 上原和直代表取締役（右）と大波所長（森林林業部）

株式会社美野里ファームが第61回福島県農業賞で 農業経営改善部門賞を受賞されました！！

令和2年9月9日（水）に表彰式がとりおこなわれた「第61回福島県農業賞」の相馬地方の受賞者を紹介します。

※農業賞は、農業経営の改善や集団活動に意欲的に取り組み、農業経営者の意識高揚及び本県農林業の振興と発展に資する、顕著な業績をあげている経営体や集団を表彰するものです。

◆農業経営改善部門◆株式会社美野里ファーム◆

【設立の経緯】

東日本大震災後、離農する生産者が多かった南相馬市原町区高平中部地区では、将来にわたる地域農業の担い手が必要でした。代表取締役の堀川氏もその一人であり、更なる規模拡大を目指して法人化し、平成28年6月に「株式会社美野里ファーム」が設立されました。

【経営内容・地域への貢献】

大規模な水稲（約42ha）と露地野菜（3ha）・施設野菜（延べ90a）の複合経営であり、年間を通じて農地と労働力を有効活用し、高い収益性を確保する経営を展開しています。平成29年度にライスセンターを設置し、近隣の方々から乾燥調製を受託するなど、地域の稲作生産にも貢献しています。



受賞した(株)美野里ファームと知事
〔左から堀川由也代表取締役、
内堀知事、堀川あや子取締役〕



トマトの栽培

（農業振興普及部）

相馬復興市民市場「浜の駅松川浦」がオープンしました！！

令和2年10月25日（日）に相馬復興市民市場「浜の駅松川浦」がグランドオープンしました。

「浜の駅松川浦」では、地元でとれた新鮮な魚介類や農産物及び加工品等の販売のほか、食堂「浜の台所くあせっと」で旬の地魚等を味わうことができます。

松川浦は、日本百景にも選定されており、豊かな自然にあふれた雄大な展望を楽しむこともできます。

皆さん、この機会に是非訪れてみてはいかがでしょうか。



グランドオープン時の「浜の駅松川浦」



「浜の駅松川浦」外観

相馬復興市民市場「浜の駅松川浦」

住所：相馬市尾浜追川196

営業時間：9時～17時

（冬季：10月～3月までの間）（企画部）

※写真提供 相馬市



こさわ
海岸災害復旧（23年災）小沢地区が県優良工事を受賞しました！

令和2年9月4日（金）に、本年度の県優良農林水産土木工事の表彰が行われ、当所発注の「海岸災害復旧（23年災）0101工事 小沢地区」が、特殊構造物（災害）部門において優良工事を受賞しました。

本地区は、東日本大震災による地盤沈下と津波により被災した海岸堤防の災害復旧工事であり、原子力災害の20km圏内であったことから着手が遅れ平成26年度より復旧工事を開始しました。

本工事は、地区の最終工事であり、二級河川太田川の河口部に接する海岸堤防工と消波ブロックによる突堤工を実施しました。

工事にあたっては、隣接工事（建設堤防・国直轄排水機場復旧工事）との綿密な工程管理や会社独自の工夫・適切な品質管理を行ったことにより、美観的にも優れた施設が完成し、このことが優良工事として評価されました。

- ・ 工事概要：堤防工 L=26.6m
 突堤工 L=60.0m
- ・ 工事場所：南相馬市原町区小浜地内
- ・ 受賞業者：石川建設工業株式会社



施工前



施工後

（農村整備部）

南相馬市主催の植樹祭が開催されました！！

令和2年10月25日（日）南相馬市原町区萱浜地内にて、南相馬市主催の第8回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭及び第62回相馬地方植樹祭が開催されました。この植樹祭は、東日本大震災で犠牲になった人々を慰霊するとともに、震災の教訓を後世に継承し、津波を緩衝する防災林を造成するという理念のもと行われています。

今回は、新型コロナウイルスの感染防止に配慮し規模を縮小しての開催となりました。当日は、絶好の秋晴れのもと、当所も含め南相馬市内の森林ボランティア団体や企業などから約200名が参加し、スタジイなど21種の樹種2,000本が植栽されました。



参加者による植樹



植樹完了

（森林林業部）





フレッシュ農業ガイド講座を開催しました！！

相馬地方の農業の取組を知ってもらうため、令和2年9月8日（火）に相馬農業高校生産環境科2年生30名を対象に「フレッシュ農業ガイド講座」を開催しました。

講座では、相馬市の「陽光園」（鉢花）、南相馬市原町区の「南相馬復興アグリ株式会社」（ミニトマト）、南相馬市小高区の「株式会社飯崎生産組合」（水稻・大豆等）の3カ所を見学し、栽培技術に関することや経営の工夫について説明を受けました。

陽光園では高玉恵治代表より、シクラメンやクレマチスの栽培技術と販売戦略の説明があり、その中でも高玉代表が品種登録したクレマチス「エールフクシマ」や、独自に作成したポップ広告によるPR方法など特徴的な取り組みを学びました。生徒からは「クレマチスのさし芽の方法」に関することなど技術的な質問があり、高玉代表が実物を手に取り、丁寧に説明してくださいました。講話では農業経営のこと以外にも、「どうせやるのであれば、その道の第1人者になろうと思って頑張ってきた。失敗することも沢山あったが真剣に取り組んでいれば必ず道は開ける。」と生徒達の将来についてもお話いただきました。

南相馬復興アグリでは成川陵農場長より、ミニトマトの養液栽培について説明があり、栽培施設には病害虫対策のため着替えて入場し、厳しい衛生基準のもとで、気温や二酸化炭素濃度などを最適な環境に制御し、高収量を目指した栽培が行われていることを学びました。生徒から「販路について」質問があがると「地元のスーパーにも出荷しているので、見つけたらぜひ手に取ってほしい」と話がありました。

飯崎生産組合では水谷隆代表取締役より、避難指示解除後に地域の農業を守り発展させるため、組織を立ち上げて営農を再開した経緯や、水稻や大豆の栽培などを少人数で効率よく作業できるよう、ロボットトラクターなどのスマート農業技術の導入実証を進めていることを学び、初めて見る機械に生徒たちは興味深そうに見学していました。また、生徒から「今後の職員採用予定」について質問があると、水谷代表は「この地域の出身でなくても積極的に手を挙げてほしい」と呼びかけました。

見学後に行なったアンケートでは、「農業でしか学べないことがあると感じた」、「農業をやっている人がこの地域の復興を導いて頑張っていることが伝わった」と感じている生徒の他に「農家が減っていることに対してもっと危機感と感心を持つべきだし、自分は何ができるのか考えたい」と頼もしい感想もあがり、「農業はやり方次第でもうかる」とイメージできた生徒の数が増えるなど、将来の就農の検討に向けて、知見を深めていただく良い機会となりました。



陽光園



南相馬復興アグリ



飯崎生産組合

（農業振興普及部）





避難指示区域での大規模林野火災対応訓練に参加しました！！

令和2年10月9日（金）に、県と双葉地方消防本部が毎年開催している帰還困難区域での林野火災を想定した大規模火災対応訓練に富岡林業指導所が参加しました。

訓練は、広野町のニッ沼公園周辺を会場に行われ、県や関係市町村、県内各地の消防本部などから約230人が参加しました。富岡林業指導所が先遣隊として延焼経路や消火活動の進入経路の確認訓練を行ったほか、ドローンを使った上空からの延焼状況の確認、最新鋭の遠距離大量送水システム車の活用訓練が行われました。

避難指示区域では、消防団員を含む住民が避難しており、火災が発生すると大規模な火災に至る場合が想定されますので、今後とも、火の取り扱いには注意するようお願いいたします。



（富岡林業指導所）

双葉地方で枝物の生産が拡大しています！！

枝物は、営農再開が進む双葉地方で近年作付が拡大している品目で、現在、当地方における花き類の作付面積のうち枝物が8割近くを占めています。

枝物とは、花、葉、果実や枝の美しさが生け花やフラワーアレンジメントの花材として用いられる「樹木」のことです。パイプハウスで栽培することの多い切り花よりも、四季折々の変化である「旬」を伝えやすい花材として需要が高まっています。

枝物栽培の大きな特徴として、

- ①定植から収穫まで数年単位でかかる品目が多いが、その後の適切な管理により長期間収穫できる
- ②主な作業は除草と病害虫防除のみであり、少人数でも大面積を管理しやすい

ことの2点があげられます。

また、枝物には様々な品目がありますが、双葉地方で最も栽培されている品目は「ユーカリ」です。コアラが食用するものとは別の種類で、写真のようなフラワーアレンジメントやブーケ、ドライフラワーなどに使われています。

双葉農業普及所では当地方の営農再開をさらに加速させるために、町村やJAなどの関係機関と一体となって枝物の振興に努めており、栽培技術や経営について支援していますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。



ユーカリを使用した
アレンジメント
（緑色の枝がユーカリ）



枝物勉強会

（双葉農業普及所）





岩手県の中학생に向けて講演会を開催しました！！

令和2年11月5日（木）に修学旅行で来県した、岩手県陸前高田市立高田東中学校の生徒58名に対して、相双地方の農林業の現状や原発事故からの復興について知ってもらうため「農業を続けるということ～原発事故に伴う避難指示を乗り越えて～」と題して、講演会を実施しました。

当日は、「株式会社飯崎生産組合」の水谷隆代表取締役と「株式会社フェリスラテ」の田中一正代表取締役社長にそれぞれご講演をいただきました。

水谷代表からは、原発事故に伴う避難指示や令和元年台風19号により度重なるダメージを受けた農業をいかにして再開していったのかを自身の体験に基づきお話しいただきました。水谷代表は「災害によるダメージを受けても、農業を続けていくというやる気があれば何とかなる。自分が何をやりたいか、何になりたいかで決まる。」と説かれました。

田中社長からは、原発事故の影響により一時は他県の牧場で勤めざるを得ない状況になりながらも福島に戻り復興牧場を立ち上げていった経緯等をお話しいただきました。田中社長からは「ここまで酪農を続けていけたのはいろいろな方の協力があったから。恩返しの気持ちを大事にしている。次世代を担う若者を支援し、恩に報いたい。」と説かれました。

生徒は熱心に話に聞き入り、当地方が置かれている現状や原発事故からの復興の歩みを伝えることができました。



株式会社飯崎生産組合
水谷代表取締役



株式会社フェリスラテ
田中代表取締役社長



生徒からの感謝状 (企画部)

南相馬合同庁舎6次化商品注文販売会を開催しました！！

新型コロナウイルス感染症の影響で、試食を伴うイベントが開催されない中、そうそう・6次化ネットワーク会員の事業者から売上の減少が続いているとの声があったため、管内の6次化商品の知名度向上と事業者の所得向上を目的に南相馬合同庁舎の職員へ管内6次化商品を販売する「南相馬合同庁舎6次化商品注文販売会」を開催しました。

管内から17の事業者が出品し、大盛況のうちに終わることができました。

出品した事業者からは、「販売機会が減少していたので、大変助かった。今後もこのような活動を続けてほしい」、「商品を知ってもらいいいきっかけとなった。」といった声がありました。

当所では、今後も地域産業の6次化を推進してまいります。



商品を購入した大波所長



販売された管内6次化商品

(企画部)





親子で学ぶ農林水産業見学体験ツアー in 檜葉を開催しました！

小学生とその保護者を対象に、生産者の皆さんとの交流や収穫体験などを通して、双葉地方の農林水産物に対する安心を深めてもらうとともに、農林水産業の再開状況や取組状況を参加された親子に理解してもらうことを目的に、親子で楽しみながら学べる日帰りバスツアーを令和2年1月8日（日）に実施しました。

当日は、小学生と保護者8組20名が参加され、初めに木戸川漁業協同組合のやな場とサケふ化場を見学し、震災時の被災状況、サケ漁の再開及び近年のサケ捕獲量の現状や人工ふ化によるサケの回帰について説明を受けました。説明時に木戸川を遡上してきたサケを目の当たりにした参加者は、時折、歓喜の声を上げながら見学していました。昼食を挟み、次に、天神岬スポーツ公園展望台「みるーる」から眺望する海岸防災林檜葉地区の施工状況を見学しました。そこでは海岸防災林の役割や震災後の復旧方法等について学びました。次に檜葉町カントリーエレベーター及び自動ラック式農業用低温倉庫を見学し、カントリーエレベーターの仕組み、管理方法、放射性物質検査方法について説明を受けました。最後にサツマイモ栽培農家のほ場を訪問し、サツマイモ栽培の取組や収穫方法の説明を受けて、収穫を体験しました。笑みを浮かべながらも、土の中のサツマイモが大きく、なかなか掘り起こすことができず、苦戦を強いられているようでした。昼食では、県産野菜（ネギ、ニンジン、ゴボウ、サツマイモ等）や檜葉町の6次化商品（ユズサイダー）を取り入れたメニューで、県産農林水産物の安全・安心・美味しさを実感していただきました。

参加者からは「学校で聞いて知っている施設を実際に子供に見せられたこと、地元でも普段見られない施設内を見られたことが良かった。」、「県の農産物に対する放射性物質検査の基準も高く県外産より安全であることを再認識した。」などの意見がありました。

（企画部）



サケ漁の説明



海岸防災林の説明



放射性物質検査方法の説明



サツマイモ収穫体験

福島県オリジナル水稲品種「福、笑い」の栽培報告・試食会を開催しました！！

県では、食味や品質にこだわったトップブランド米「福、笑い」の令和3年度の本格栽培開始を目指して、県内12市町村で実証栽培を行いました。

この度、南相馬市及び檜葉町の実証までの収穫・調製が終了したことから、11月27日（金）には門馬和夫南相馬市長へ、12月4日（金）には松本幸英檜葉町長へそれぞれの関係者を交えて、栽培報告を兼ねた試食会を開催しました。

試食会では、「天のつぶ」、「コシヒカリ」との食べ比べを行い、門馬南相馬市長からは、「白米のままでもおいしい、甘味が強く、噛むと香りもする。」とご好評をいただきました。松本町長からは、「コシヒカリより甘みと粘りがあり大変おいしい。草丈が短く、倒れないのが魅力」と同じくご好評をいただきました。

「福、笑い」は、県観光物産館や北野エースうすい郡山店のほか、オンラインや首都圏の百貨店で先行販売しています。是非一度ご賞味ください。



門馬南相馬市長との試食会



松本檜葉町長との試食会

（企画部）





「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました！

令和2年11月7日(土)に、いわき市の21世紀の森公園で開催された「いわきドリームチャレンジ2020」内で、県産農林水産物の風評払拭と販売促進を目的とした、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを県いわき農林事務所と合同で開催しました。



パネル展示による復興状況の説明

当日は、アンケート調査にご協力いただいた方へ、GAP 認証を受けたいわき市内の農産物等の配布やパネル展示による浜通りの復興状況の説明を行い、大勢の参加者で賑わう中、大盛況のうちにキャンペーンを終えることができました。

当所では、引き続き県産農産物の安心・安全を発信してまいります。この機会に県産農産物を是非ご賞味ください。

(企画部)

相双・地産地消料理コンテスト入賞レシピを農家レストラン「菜の花」で提供しました！

当所では、平成27年度から令和元年度まで地元の農林水産物をより一層活用していただくため、地元産の食材を活用した「相双・地産地消料理コンテスト」を開催してきました。

この度、これまでの料理コンテスト入賞レシピの中から、「青ばた豆とシラスチーズご飯」と「かぼちゃすいとん汁」を相馬市の「農家レストラン『菜の花』」様の御協力のもと、令和2年8月5日(水)から29日(土)までの約1か月間ランチメニューとして提供いたしました。期間中に216食が提供されましたが、好評の声を多くいただくことができました。



提供したランチ

青ばた豆とシラスチーズご飯 (左下)
かぼちゃすいとん汁 (右下)

当所では、引き続き地産地消に向けた取組を推進してまいります。

(企画部)

新型コロナウイルス感染症対策に関する相談窓口について

県では新型コロナウイルス感染症対策に関する相談窓口を設置しています。新型コロナウイルス感染症対策に係る管内の農林業における経営や支援制度等の相談については、下記へお問合せください。

(受付時間 8:30~17:15 (土・日・休日を除く))

- ・農業に関すること
(相馬地方) ※1
農業振興普及部 電話 0244-26-1146
- (双葉地方) ※2
双葉農業普及所 電話 0240-23-6473

- ・林業に関すること
(相馬地方) ※1
森林林業部 電話 0244-26-1171
- (双葉地方) ※2
富岡林業指導所 電話 0240-23-6084

※1 相馬市、南相馬市、新地町、飯舘村

※2 広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村

また、以下のURLより国及び県の新型コロナウイルス感染症対策に係る支援制度等をまとめた資料等を閲覧できます。ぜひご活用ください。

URL : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/corona01.html>



相双農林事務所からのお知らせ

相双地方では、福島第一原子力発電所事故の影響で農林水産物の摂取・出荷制限指示が出されています。

摂取や出荷に当たっては、摂取・出荷制限指示の有無の確認をお願いいたします。

摂取・出荷制限指示の有無については、以下のURLから確認できます。

『摂取や出荷等を差し控えるよう要請している福島県産の食品について』

※ふくしま復興ステーションHP内：<https://www.new-fukushima.jp/storage/pdf/subject.pdf>

農作物の出荷制限についてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

～野菜類、果実類～

・相馬地方
福島県相双農林事務所 農業振興普及部
経営支援課 電話 0244-26-1151

・双葉地方
福島県相双農林事務所 双葉農業普及所
経営支援課 電話 0240-23-6474

～山菜類、きのこ類～

・相馬地方
福島県相双農林事務所 森林林業部
林業課 電話 0244-26-4305

・双葉地方
福島県相双農林事務所 富岡林業指導所
電話 0240-23-6084

表紙の写真について

南相馬市鹿島区ではナシの生産が盛んです。表紙の写真は但野喜直さんがジョイント栽培により育てているナシです。

ジョイント栽培とは、ナシの樹などを隣どおして繋げて栽培する手法で、管理の省力化などの効果があります。

育てられたナシの一部は、かしま観光協会で「かしまの和梨ジュース「幸水」、「豊水」」に加工されています。この機会にぜひご賞味ください。

一般社団法人かしま観光協会

南相馬市鹿島区鹿島字町 39 TEL:0244-26-3700



福島県相双農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
Tel : 0244-26-1153 Fax : 0244-26-1181
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36260a/>
E-mail kikaku.af06@pref.fukushima.lg.jp